

秋の企画展示 北斎館開館 40 周年・
墨田区友好協力協定調印 20 周年
「華ひらく北斎のまち」を
開催します

今年、北斎館が開館して 40 周年、そして北斎生誕の地「墨田区」と町が友好協力協定を調印して 20 周年の記念すべき年に当たります。

文書館では、これを記念して、10 月 4 日(火)から企画展を開催します。(会期は来年 3 月末まで)



写真: NHK テレビ「オーマイ北斎」収録のため曳き出された上町祭り屋台(昭和 47 年 10 月)



写真: 北斎館開館のテープカット(昭和 51 年 11 月 6 日)
左から市村郁夫町長(開発公社理事長)、金子孚水氏、長野県教育次長
(滝澤家写真資料)

世界の文化巨匠・葛飾北斎芸術の殿堂として「北斎館」が開館したのは、昭和 51 年(1976)11 月 6 日のこと、小布施にとってこの日は、まさに特別の日となりました。その後、北斎館は、開館 20 周年を迎えた平成 8 年(1996)には、入館者が 350 万人を突破し、全国屈指の美術館へと成長を遂げます。そして、この年の 5 月 1 日、小布施町は墨田区と友好協力協定を調印、北斎のまちとして、新たな交流と飛躍の一步を踏み出しました。

今回の展示は、今から 40 年前そして 20 年前の小布施にとって記念すべき日を中心として、関連写真・文献資料を展示、解説し、文化の華が開いたその時を、改めて振り返ります。



写真: 宝暦 4(1754)年 小布施薪市場(横町)の図(個人蔵)

古文書からみえる小布施の生活文化④

-小布施の六斎市研究の最前線-

「文書館ワークショップ」を開催します

「六斎市」にまつわる極めて貴重な史料を選んで読み解きながら、そこでどのような商売が行われていたかをお話します。お気軽にお出かけください。

日時 11月12日(土) 午後3時~4時 30分

会場 小布施町公民館3階 講堂

講師 横浜国立大学教授 多和田雅保さん